

第6回 三原ふるさと 子ども博士講座

平成30年10月8日（月／祝）に中央公民館で行われた「第6回三原ふるさと子ども博士講座」今年も講師として、絵本作家の **永井 郁子** 先生におこしいただきました。永井先生におしえてもらいながら、本郷につたわる昔話『おじそうさんと二十三夜まつり』を10の場面に分け、それぞれの場面にあった絵を考えながら絵をかくという本格的な絵本づくりを体験しました。



永井 郁子 ながい いくこ

本郷町出身。

「わかったさんのおかしシリーズ」「かいぞくポケット」など、多くの絵本イラストを手がける。

2009年には三原ふるさと大使に任命され、三原の子ども達のために精力的に活動を行っている。



『おじそうさんと二十三夜まつり』

ほんごうの二十三夜まつり（沼田ほんごう夏まつり）がはじまったもととなったおはなし。

むかしむかしほんごうむらで、こめのふさくとびょうきのりゅうこうがあり、おおくのむらびとがなくなりました。

あまでらのあまさんは、これをくようするため、むらむらをめぐりおかねをあつめ、りっぱなおじそうさんをつくりました。

それいらい、こめのふさくとびょうきのりゅうこうはなくなり、おだやかなくらしができるようになりました。

ほんごうではまいとし七月二十三日ぜんごに、二十三夜まつりがにぎやかにおこなわれるようになりました。

講座のようす



さんこうイラストをもとに、絵のイメージを
ふくらませていきます。



分からないところがあったら、永井先生が
ていねいに教えてくれます。



書き終わったら一人ずつはっぴょうします。
きんちょうせずうまく読めるかな！？



永井先生がみんなの絵をほめてくれました。
すてきなかみしばいが4つ、出来上がりましたね。



最後はみんなで記念撮影。
永井先生、本当にありがとうございました！